

ラーメン 1000 円は高い？

お疲れ様です。品質管理課の平井です。

今回は私の大好物であるラーメンのことについて書こうと思います。

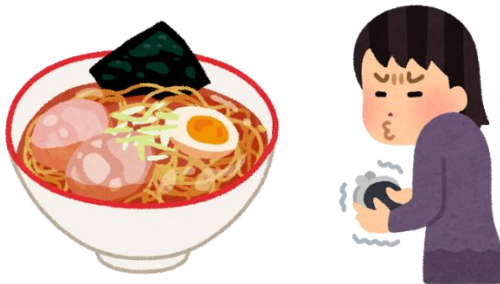
- ラーメン 1000 円の壁について

突然ですが、ラーメン 1 杯 1000 円と聞いてどう思いますか？

「高い」「ラーメンに 1000 円もだせない」と思う方は少なくないでしょう。

約 8 割の人が 1000 円のラーメンに抵抗を感じるというアンケート結果もあるようです。

このようにラーメンは 1000 円を超える値上げが難しいという”常識”がありました。



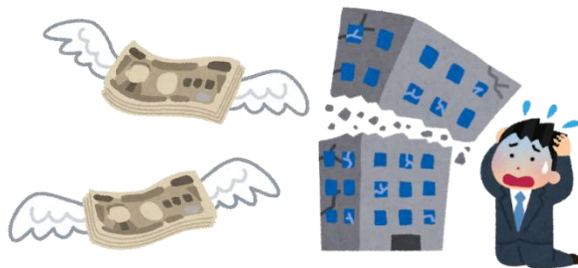
- ラーメンを取り巻く環境

ここ最近、皆さんご存知のように色々なものの価格が高騰しています。

ラーメンでいえば、原材料費や光熱費などが該当します。

さらには人手不足や人件費の高騰など、様々なコストが上昇しており 1000 円以下の価格を維持することが以前より難しくなっています。

1000 円の壁がネックとなり上昇したコストを価格転嫁できず倒産する店舗もあります。2024 年のラーメン店倒産件数が過去最多というニュースもあります。



- 1000 円の壁は崩壊している…？

ここまで 1000 円の壁について言及しましたが、ラーメン 1 杯の価格が 1000 円を超える店も当たり前になってきたように思われます。

先述の物価高騰の影響もさることながら、ラーメンに対する感覚が変わってきている

ことも理由として挙げられるでしょう。

これまでラーメンは安くて旨く早く食べられる、いわゆる B 級グルメとして認識されてきました。しかし、昨今のラーメンは厳選した食材を使用し高度な調理技術を駆使したものが増えてきています。また、ラーメンそのものだけでなく予約制での営業や綺麗で清潔感のある店内など店舗も進化しています。



ラーメンが多様化し、ラーメン＝安くて旨い、ではなくなっているのです。

ラーメンは安いものという認識が依然根強く存在しますが、多様化したラーメンを十把一絡げにして 1000 円の壁を作ることには無理があると思われます。

今後、多様化したラーメンにも棲み分け（回転寿司＝安い、回らない寿司＝高い、みたいな）ができれば 1000 円の壁という概念もなくなっていくのかもしれませんが。